

野外教育事業所 ワンパク大学とは

1975年に伊豆七島三宅島の観光施設「人間牧場」で発足した団体です。当時、都会のもやしっ子という言葉がはやりテレビのコマーシャルでは「ワンパクでもいい。たくましく育ってほしい」というキャッチフレーズが使われていた時代でした。四季の自然の中で「新しい発見・大きな感動」を求め、現在は、東京都新宿区に拠点を置き、幼児から大人を対象に、年間を通した自然体験活動の企画運営を行っている都市型の自然学校です。「大学」と名付けたのは、様々な年代の人が共に学び、共に成長をする場という思いが込められています。

ワンパク大学の理念

ひとづくり

「新しい発見・大きな感動」を体験し「生きる力」を身につけ、個性豊かで生き生きとした「ワンパクなひと」を育てる「ひとづくり」を目指します。

いのちのつながりの理解

自然体験活動を通して、地球のすべての「いのち」がよりよく関われるために行動していくことを目指しています。

ワンパク大学が大切にしている3つの新しい発見 大きな感動とは？

自分→自分の新しい力を発見
自信を持って成長する
ひと→異年齢集団で活動し、
人とのふれあいに感動
自然→人も自然の一部である
ことを認識し、自然の
素晴らしさを発見し感
動する活動を体験する。

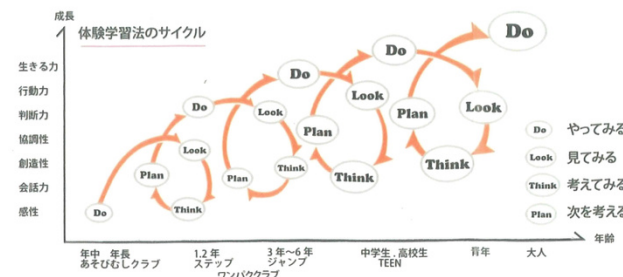
ワンパク大学がめざすワンパクな子ども、ひととは？

- ・夢を語り、夢を持ち続ける子ども
- ・心も体もたくましい子ども
- ・五感を使い、身近な自然に気づく子ども
- ・コミュニケーション能力のある子ども
- ・自分から気づき、考え、行動ができる子ども
- ・一生懸命が好きな子ども

ワンパク大学のちかい

ワンパクのちかいは、すべての活動において生活の指針となる約束事です。

- 一、自分のことは自分です
- 一、最後までやりぬく
- 一、友だちは大切にする
- 一、あいさつは大きな声です
- 一、絶対に泣かない
- 一、約束を守る



ワンパク大学の活動の特徴

直接体験の重視

「わかっている」「知っている」という知識ではなく「見る 聞く 触れる 嗅ぐ 味わう」という五感を使った直接体験を大切にしています。

体験学習法の活用

「やってみる」→「見直す」→「考える」→「次を考える」という体験学習法のサイクルを大切に、体験から学びに繋げていきます。対象年齢に応じて目標を明確にして体験学習法を活用して、参加者が自らの体験から気づきを共有し、考えて新たな行動を起こし、更なる成長を目指します。

ワンパクな人・子どもを育てていきます

ワンパク大学は今年で49年目を迎えます。コロナ禍を経て、学校教育の中にも「体験」が重視されるようになりました。ワンパク大学では創設以来、常に、学校や家庭ではできない「体験」を子どもたちに提供し、その成長に携わってまいりました。今年度も、自然の中で様々な「体験」を、年齢の違う友だちとの集団活動で実施し「ワンパクな子ども」の育成に取り組んでまいります。今年も多くの方のご理解とご支援をお願いいたします。

代表 三好 利和（ドン・ガバチョ）



当団体は一般社団法人日本アウトドアネットワークのアウトドア事業者安全評価認証制度によって「セーフティーアウトドア事業者」に認証されています。



当団体はNPO法人自然体験活動推進協議会が事務局を務めるSAFETY OUTDOOR キャンペーンに参加しています。



当団体はSDGs(持続可能な開発目標)に参加しています。SDGsは2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国に全会一致で採択された国際目標です。

お問い合わせ〔企画・運営〕

野外教育事業所 ワンパク大学

〒161-0031 東京都新宿区西落合1-25-17-101
TEL:03-5906-5491
e-mail: info@wanpakudaigaku.jp

お申込み〔旅行企画・実施〕

(株)ハロートラベル ワンパク大学予約センター

〒161-0032 東京都新宿区中落合4-26-16 桂13号
TEL:03-5906-5490 e-mail: info@wanpakudaigaku.jp
東京都知事登録旅行業第2-2884号
(一社) 全国旅行業協会正会員 旅行業務取扱管理者 三好利和

子どものための自然体験プログラム

2025年度 年間スケジュール

自然の中で ワンパクで たくましい 子どもを育てます



檜原村・川の探検キャンプ

新しい発見、大きな感動が得られる 日常では体験できない多様なプログラム！

48年間の実績と歴史のある団体です。

年齢に応じて、無理なく体験できます。

参加したい活動に単発でお申し込みOK！

野外教育事業所

ワンパク大学



ホームページ



Instagram